



平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月11日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東  
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	663	578.1	9	—	6	—	4	—
25年11月期第1四半期	97	△71.6	△33	—	△39	—	△40	—

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 19百万円 (26.95%) 25年11月期第1四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	0.11	0.11
25年11月期第1四半期	△1.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第1四半期	2,356	1,295	54.9	35.06
25年11月期	2,741	1,261	46.0	34.30

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 1,294百万円 25年11月期 1,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,630	263.03	230	283.3	225	350.0	220	340.0	5.98
通期	1,970	164.43	135	237.5	130	441.7	120	445.5	3.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期1Q	37,067,371株	25年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	26年11月期1Q	127,500株	25年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期1Q	36,803,205株	25年11月期1Q	36,789,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等に付いては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年2月28日）における国内経済は、政府による経済政策及び日本銀行による金融緩和政策や各種経済政策を受けて、企業業績の向上や個人消費に改善が見られ、デフレ脱却へ向け着実に前進し、緩やかながら景気回復を続けています。

当社グループの主要事業である不動産業界では、金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、また居住用不動産においては、低金利、景況感の改善に伴う消費マインドの回復、消費税増税に伴う駆け込み需要の発生により活発に取引される等不動産市場の回復は鮮明になりつつあります。国内株式市場においては、日経平均が平成25年12月30日に高値を付けた後、調整が続いておりましたが、当第1四半期決算期末に向けて回復基調で推移しました。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第1四半期連結累計期間も引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて営業力の強化を図り、積極的に営業活動を行ってまいりました。また、新たな不動産ファンドや投資家ニーズにあった証券ファンドの開発に努めて参りました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第1号ファンドである「福岡川崎ソーラーファンド」を組成することができました。インベストメントバンク事業におきましては、保有不動産物件の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高663百万円（前年同四半期比578.1%増）、営業利益9百万円（前年同四半期の営業損失は33百万円）、経常利益6百万円（前年同四半期の経常損失は39百万円）、四半期純利益4百万円（前年同四半期の四半期純損失は40百万円）となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は155億円（一部円換算US\$1.00=101.94円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は195億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業では開発アレンジメントフィー等を計上しました。この結果、アセットマネジメント事業は、売上高85百万円（前年同四半期比57.2%増）、営業損失15百万円（前年同四半期の営業損失は12百万円）となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、当社グループが保有する販売用不動産等の売却と不動産賃貸収入を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等を計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業は、売上高578百万円（前年同四半期の売上高は43百万円）、営業利益63百万円（前年同四半期比420.9%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### （資産の状況）

流動資産は前連結会計年度末比388百万円減の2,119百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少と販売用不動産の減少等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比4百万円増の236百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券等の時価上昇の影響による増加であります。

以上の結果、資産の部は2,356百万円となり、前連結会計年度末比384百万円減となりました。

#### （負債の状況）

流動負債は前連結会計年度末比404百万円減の1,028百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比13百万円減の32百万円となりました。これは主に、その他固定負債の減少によるものであります。

以上の結果、負債の部は1,061百万円となり、前連結会計年度末比417百万円減となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比435百万円減の891百万円となりました。

（純資産の状況）

純資産の部は1,295百万円となり、前連結会計年度末比33百万円増となりました。これは、四半期純利益の計上と、自己株式の処分、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり平成26年3月20日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	873	692
売掛金	27	23
未収入金	8	10
有価証券	139	175
営業投資有価証券	303	322
販売用不動産	1,016	692
立替金	113	108
短期貸付金	—	61
その他	27	35
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	2,508	2,119
固定資産		
有形固定資産	21	23
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	108	111
その他	102	102
投資その他の資産合計	210	213
固定資産合計	232	236
資産合計	2,741	2,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100	190
1年内返済予定の長期借入金	1,226	701
未払金	35	78
未払法人税等	6	0
預り金	33	22
前受収益	16	10
その他	15	25
流動負債合計	1,433	1,028
固定負債		
その他	46	32
固定負債合計	46	32
負債合計	1,479	1,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	617
利益剰余金	△506	△501
自己株式	△15	△7
株主資本合計	1,219	1,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	55
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	42	55
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,261	1,295
負債純資産合計	2,741	2,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	97	663
売上原価	17	537
売上総利益	80	125
販売費及び一般管理費	114	115
営業利益又は営業損失 (△)	△33	9
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	2
その他	0	0
営業外収益合計	1	2
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	0	0
営業外費用合計	6	5
経常利益又は経常損失 (△)	△39	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△39	6
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	1	1
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△40	5
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	1
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△40	4



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△40	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	13
為替換算調整勘定	1	△0
その他の包括利益合計	55	13
四半期包括利益	15	19
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15	17
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント 事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	54	30	13	97
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	54	30	13	97
セグメント利益又は損失 (△)	△12	9	2	△0

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△0
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△42
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△33

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント 事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	85	574	3	663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	85	574	3	663
セグメント利益又は損失 (△)	△15	81	△17	48

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	48
セグメント間取引消去	10
全社費用（注）	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	9

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。